

《 製品の詳細説明 》

① ゴムラテックス手袋用・帯電防止剤、「バイオセルBN-127」



1-1 バイオセルBN-127 の性状

- 外観 : (20℃) 淡橙色ペースト状、
媒体水分 : 70±1 %
pH (30℃, 1%) : 7.5~8.5
溶解性 : アルコール、ケトン類に易溶、水に安定分散、

1-2 使用例 (ラテックス からの試作品引き抜き加工)

素材製品のNBRラテックスを常温下に攪拌している状態のところに、60℃に加熱、融解させたバイオセルBN-127を適量添加し、5~10分混合させた後、成形型を用いて引き抜き付着させた物を熱乾燥させて、帯電防止性能付与商品として完成させました。

1-3 帯電防止効果の測定結果

耐油性、耐摩耗性に優れ、また、機械的強度があるニトリルゴムはシール材として欠かせない材料であるが、ここで、帯電防止性能付与を必要としている用途としては、クリーンルームやそのほかのIC機器が周辺にある場所で使う特殊手袋が代表的です。

以下にNBR製手袋が、バイオセルBN-127によって首尾よく帯電防止性能を付与した新商品として製造されていることを、表面抵抗率の低下観測で調べた結果を示しました。

- 測定条件 23℃ , 50%RH下に測定試料を48Hr静置
- 表面抵抗率の測定方法 シムコジャパン(株)製 ST-4型表面抵抗計 を使用
- 電気特性改質結果

対象測定試料 (ラテックスからの成形物)	表面抵抗率(Ω/□)	摩擦帯電性
バイオセルBN-127無添加のNBR手袋	> 10 ¹³	有り
バイオセルBN-127 2.5%複合NBR手袋	2.0 × 10 ⁹	無し

★ バイオセルBN-127の電荷漏洩機能成分がNBRラテックス中のポリマーマトリックスと適切に親和した状態のまま、商品の手袋の加工工程に移行して、目的とする帯電防止性能付与物を誘導するという有益な手法が確認できます。

#####

ビオミセルBN-127による、

ゴムラテックスに混合する添加量についての参考例

#####

(添加量の例)

1)、 純分30%のゴムラテックス100部に対しては、「BN-127」
を3.4部 投入する。

2)、 純分50%のゴムラテックス100部に対しては、「BN-127」
を5.0部 投入する

以上の2例が標準添加率ですので、性能に不足が有りましたら適正添加
量を探ってください。

(性能確認方法)

1、 表面抵抗率の測定、 (E+9~12、以内であること、)

2、 摩擦帯電の有無の検査

(300G圧で20~30回摩擦後に、紙片の吸着を見る。)

(株)ポロン研究所